

令和6年度第1回日の出町総合教育会議 議事録

- 1 開催日 令和6年6月21日(水)
- 2 開催時間 午後1時27分
- 3 終了時間 午後2時51分
- 4 場所 日の出町役場 3階 第3会議室
- 5 出席者
町長 田村みさ子
教育長 小林道弘
教育委員 古山吉利
教育委員 小林作二
教育委員 高野泰弘
- 6 欠席者 教育委員長職務代理者 浜松裕子
- 7 説明員
学校教育課長 萩原哲
指導室長 平崎一美
学校給食センター所長 折笠智美
文化スポーツ課長 坂井岳
福祉課長 関谷好史
こども家庭センター所長 田中雅司
生活安全安心課長 野口誠
- 8 事務局職員
企画財政課長 木崎義
企画財政課企画係長 湯本洋和
企画財政課企画係 石川敬大
学校教育課庶務係長 清水強

令和6年度 第1回日の出町総合教育会議 議事録

令和6年6月21日（金）
午後1時27分～午後2時51分
日の出町役場 3階 第3会議室

1 開 会

木崎企画財政課長

只今から、令和5年度第2回日の出町総合教育会議を開会いたします。私は、事務局の企画財政課長木崎でございます。よろしくお願い申し上げます。この会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4」の規定に基づき設置される会議で、構成員は、町長及び教育委員会で町長が招集することとされております。

それでは次第によりまして進めさせていただきます。次第の2町長挨拶、田村町長よりご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

田村町長

本日は大変お忙しい中、そして足元の悪い中、皆様には令和6年度第1回の総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。すでに令和6年度も3ヶ月が経過しようとしております。令和6年度の方針としまして、町では、選択と集中を掲げ、多様化・複雑化する行政課題に対し、限られた資源を効果的・効率的に取り組むべく、「居場所づくり」を一つのテーマとして予算編成を行いました。

また福祉の部門のこども家庭センターですが、教育委員会との連携が不可欠でございます。本日はご理解を深めていただく機会にもしたいと思っております。下にありますとおり、議題及び報告事項10件挙がっております。どれも重要な案件かと思っております。

日の出町の子供たちのために、よりよい環境を作っていく、目的はそこに尽きるということでございます。大人の一番の責任であります。事務局の説明に加えまして、教育委員の皆様からのご意見を伺う良い機会ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題及び報告事項

(1) 令和6年度学校施設関係工事の進捗状況【学校教育課】

萩原学校教育課長より資料に則り報告

(2) 日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）の実現状況【指導室】

平崎指導室長より資料に則り報告

(3) 日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会の進捗状況と今後の予定

平崎指導室長より資料に則り報告

【指導室】

(4) 「日の出町合併 70 周年・町制施行 50 周年」記念教育委員会事業について【指導室】
平崎指導室長より資料に則り報告

田村町長

日の出町の合併 70 周年町制施行 50 周年に関する取り組みは、町の事業として今年と来年度取り組む内容です。来年が合併 70 周年で、今年が町制施行 50 周年の年なんですけど、広報 6 月号から毎月シリーズで、町の過去の歴史を皆さんにお伝えしています。その目的というのが、もちろん町民の方に過去をわかっていたくことが一つですけども、同時に、次の時代を作るときにやはりそういった過去の基礎があって、その上に作っていかうということもお伝えしています。まちづくりは、過去の土台があって次のステップに行くというそういった継続性もとても大事なことだということで、企画財政課を中心に各課の横断的な協力体制のもとに行っているところです。教育委員会では子供たちをきちんと位置付けて、子供たちにも浸透するようなことをやっていただきました。子供たちがいないと未来への展望というところが霞んでしまいがちになるので、私としては今お話を聞いていてうれしくなりました。

平崎指導室長

今年度も令和 7 年度の取り組みもそうなんですけど、これをやりながら、次の長期総合計画や教育ビジョンに生かしていく。行政が考えるだけじゃなくて子供の声や、町民の声をもっとしっかり取り上げるという具体的な作業をしていきたいと思えます。

小林委員

70 周年記念の関係でキャッチフレーズ、それからロゴマークのコンクールをやるにあたり、作品を選考するのがすごく大変だと思うんです。選考委員を例えば何人ぐらいにするとか、どんな人を選ぶかなど、現時点でおおまかなところがわかっているれば。

平崎指導室長

企画財政課の担当の方と調整をされていて、去年は校長先生方や、教育委員会、それから産業観光課、企画財政課の職員で行いました。今年は内部ではなく、少し外部の方も入れて行いたいと考えています。例えばということで話題が上がったのが、東京大学と協定を結んで、共生社会に生きることとはどうするか話し合う事業を行っていますが、そこに関わっていただいている先生がまちづくりや、教育づくりも手伝ってくれていますので、そういった方も候補として考えています。企画財政課と調整して検討してまいります。

小林委員

いずれにしても著作権の問題はかなり出てきているので、ぜひその辺は慎重にやっていただければいいかなと思います。

平崎指導室長

今は生成 AI などもありますので、特にロゴマークなど気をつけなければと考えています。

(5) 新学校給食センター整備の進捗状況について【学校給食センター】
折笠給食センター所長より資料に則り報告

古山委員

この件の進捗状況について P T A の保護者の方、給食審議会ではある程度情報を出していますか。

折笠給食センター所長

年 2 回の学校給食運営協議会、P T A の代表の方々との情報交換の場があり、そちらでは、検討委員会に諮られた後の情報でありましたら、その都度その時の開催時期に合わせて、

報告をさせていただいているところでございます。

古山委員

保護者にとっては非常に興味があること。給食というのは結構大きな問題なので、些細なものでもできるだけ情報共有をすると良いかと思います。

(6) 図書館の充実について（その後の展開）【文化スポーツ課】
坂井文化スポーツ課長より資料に則り報告

(7) スポーツ振興の方針について（その後の展開）【文化スポーツ課】
坂井文化スポーツ課長より資料に則り報告

(8) 子ども子育て支援事業計画（第三期）について【福祉課】
関谷福祉課長より資料に則り報告

(9) こども家庭センターの組織体制及び整備の進捗状況について【こども家庭センター】
田中こども家庭センター所長より資料に則り報告

古山委員

このこども家庭センターが動き出すと、現体制に比べてどのような点が大きく、改善されているんですか。

田中こども家庭センター所長

今までは母子保健の部門、児童福祉の部門、子ども家庭支援センターと、別々になっていたのですが、一堂に会し合同会議という形で一緒になることによって、妊婦さんの時から、子供さんが生まれてからの情報もダイレクトに入りますので、お腹に子供さんがいるうちから、虐待に繋がるのではないかというリスクを、あらかじめ話し合うことができるのが大きな特徴になります。

古山委員

横でしっかり連携が取れるということは、子供に対するケアがこれまで以上に厚く、しかも的確、迅速にできるということですね。

田中こども家庭センター所長

部門によって、業務のギャップが非常に大きいですが、最初のうちから意識を一緒にすることに、尽力しているところでございます。それによって、ひどいところになる前に予防をして抑えていこうという面では、表面には見えませんが、将来的に発生する数は防げるのではないかと考えております。

高野委員

こども家庭センターがそうなのかわからないが、中学校を卒業した後から成人するまでの子供たちのケアというのは、日の出町はどこが担っているのかなと思うところがあります。子供真ん中社会、子供アドボカシーのような、子供の意見尊重という流れが出てきている中、社会的養護のお子さんたちをどうするかという疑問が高まってきていると思います。今日知ったのですが通信制の生徒の自殺が、去年 1 年間で 90 人近くにも上っているという中で、今年新高校生になった方々も通信制とか、サポート校に進学する子が増えてきてる。切れ目なく支援していく中でどこをサポートをして、リスクを抱えてるお子さんがいた場合に、どう対処していく必要があるのかというのは、ちょうど今日思ったところです。そちらの支援体制はどのようなになってますか。

田中こども家庭センター所長

18歳の誕生日を迎えると、こども家庭センターの相談は割とそこで切れる形になるんですけども、日の出町では高校を卒業する年度末までは、継続して支援していこうと進めています。年齢的に、本人からも相談できる年齢ですし、また親御さんからの相談が継続していくケースもありますので、高校生年齢までは、お手伝いの継続を目指していきたいということで対策を考えています。

平崎指導室長

町の中にそういった子供たちが集えるような場所や空間が、ボランティアでもいいのでできあがっていき、そこでいろんな人と関わって、その繋がりがさらにその先に繋がっていくのかなという気がします。教育ビジョンの教育というのは、義務教育段階だけではないので、広く考えていく必要があると感じました。

高野委員

最近若い世代が事件を起こしている。何とかしないといけないと感じています。

田村町長

地域の住民ですし、大きな課題だと感じております。考えていけたらと思います。

(10) 自転車用ヘルメット購入費補助について【生活安全安心課】

野口生活安全安心課長より資料に則り報告

小林委員

200件というのは何か意味があるのでしょうか。

野口生活安全安心課長

東京都の補助を受けて実施している事業のため、人口が1万人から3万人ですと、この200が上限になっております。

小林委員

それでは現状は単独では行わず、この対象分についてのみ補助するという考え方ですか。

野口生活安全安心課長

昨年度も同様200件の補助を11月からご案内しておりました、広報やお知らせメール等での周知も行ないましたが、3月に駆け込みで200件に到達した経緯がありましたので、現状は200件となっております。今年度は7月から案内をはじめますので、状況によっては単独で実施も検討いたします。

(11) その他

木崎企画財政課長

本会議は例年2回開催しております。次回は令和7年の2月を予定してございますので、ご承知おきいただければと思います。

4 閉 会

木崎企画財政課長

皆様ありがとうございました。最後に田村町長から会議の総括を申し上げます。

田村町長

長時間にわたり、お疲れ様でございました。貴重なご意見を頂戴いたしました。

令和6年の学校施設関係工事について、今年度の取り組み状況説明がありました。子どもたちが教育を受ける場、その空間の整備ですね。環境的な支援として、私は充実させるべきだというふうに常々思っております。十分な予算が取れていないと現場はご不満もいろいろおありかと思いますが、子供たちのためには優先的に予算措置を努めていきたいというのが私の願いでございます。着実な執行を求められて大変かと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

指導室からは日の出町教育ビジョン2023の実現状況、コミュニティ・スクール創設の準備連絡協議会の発足取り組みの説明がありました。ともに学び支え合い、みんなでつくる日の出町の教育の具現化に向けて、連携協働による質の高い学校づくりを目指して、引き続きよろしくお願いいたします。

町制施行50周年について、こちらは日の出町の町長部局で力を入れてやっていきたいと考えていることですが、ぜひ教育委員会でも一緒に、この町全体で記念すべき、将来に繋がる大事な節目を盛り上げていただければと思います。

学校給食センターですが、あきる野市と共同で設置を進めております。いろいろと苦勞が現場であるというお話を聞いております。加えて物価高騰などの波の中ですが、子供たちに安全安心な学校給食を、を安定的に提供していく。子供たちの育ちと同時に、また美味しく子供たちが喜ぶメニューで楽しい時間を過ごして欲しいと願っております。

文化スポーツ課からは前回の会議に引き続き、図書館の充実とスポーツ振興方針について報告されました。図書館の充実では自習室の試験的な取り組みも実施されます。議会からもいろいろとご意見届いておりますので、今年の夏に試行的に行い、その様子を見たいと思っております。スポーツの振興方針については現在、東京都のスポーツ振興審議会の委員をしております。非常に範囲が広く、パラスポーツからeスポーツ、レクリエーションなのかスポーツなのか、施設も多様化したような施設の提案が上がったりしております。東京都のスポーツ振興計画ができるのが楽しみです。日の出町のスポーツのあり方についても、このような場でもいろいろ議論を進めながらこの町にふさわしい、使い勝手のいい計画ができたらと考えております。

福祉課からは子ども子育て支援事業計画について説明をいたしました。今はまだニーズ調査の段階でございますが、適宜、皆様にまたお知らせをして、ご意見を伺えればと思います。

こども家庭センターからは組織体制と整備の進捗状況についてご説明いたしました。「こそだち」と教育委員会各小中学校との連携が、子供の様々な問題の解決に不可欠でありますので、引き続き強固な連携をお願いしたいと思います。高野委員からご意見がありました、少し大きくなった高校生から上の子ども達について、切れ目なく支援をするといったことも、これからの課題であり、しっかりと考えていかなければいけないと思っておりますので、またいろいろとご意見、議論ができるかと思っております。

ヘルメットのことでありますが、私の方からもぜひお願いをしたいです。学校でぜひ何度でも周知をしていただければと思います。子供たちが自転車で遊んでる様子を見てると、かぶっていない子が相当います。暑いですし、嫌だなと思うこともあるかもしれませんが、やはり大きな事故もありましたし、これは繰り返し学校の先生方からご指導いただきたいなと思います。

以上様々な取り組みがされておりますが、子供を取り巻く環境は日の出町教育ビジョン2023、日の出町教育大綱に繋がっているものばかりでございます。冒頭でもお話ししましたとおり、私どもの行政の仕事は今後大きな部分を担う子供たちのためのものがございます。子供は大きく声を発することができないからこそ、まず側に行ってよく声を聞いて、様々に取り組んでいかなければならないと感じております。こうした姿勢はですね教育委員会でも町長部局でも全く同じだと思っております。

引き続きこの総合教育会議において、各事業の進捗状況、意見交換をしながら、取り上げて参りたいと考えておりますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。本日は大変ありがとうございました。教育委員会の皆様におかれましても、長時間大変お疲れ様でした。

配布資料

- 【資料1】令和6年度学校施設関係工事について
- 【資料1-①】令和6年度 学校施設関係工事進捗状況
- 【資料2】「日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）」実現状況
- 【資料3】日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会実施の役割と進め方
- 【資料4】日の出町CS通信 No. 1
- 【資料5】日の出町合併70周年・町制施行50周年を迎えるに当たって
- 【資料6】キャッチフレーズ&ロゴマークコンクール
- 【資料7】新学校給食センター整備の進捗状況について
- 【資料8】図書館の充実及びスポーツ振興の方針について
- 【資料9】子ども・子育て支援事業計画(第三期)について
- 【資料10】こども家庭センター（愛称：こそだち）の組織図
- 【資料10-①】こども家庭センター整備及び保健センター改修工事工程表
- 【資料11】自転車用ヘルメット購入費の補助について